

令和5年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■調査概要

助成団体	三重県志摩市
間接助成団体	総合型地域スポーツクラブ『クラブ志摩』
事業細目名①	総合型地域スポーツクラブ自立支援事業
助成金額①	1,728,000 円
事業細目名②	総合型地域スポーツクラブマネジャー設置支援事業
助成金額②	1,555,000 円

■調査内容

令和5年度総合型地域スポーツクラブ活動助成で、自立支援事業・クラブマネジャー設置支援事業を行っている三重県志摩市及び間接助成団体である総合型地域スポーツクラブ「クラブ志摩」の調査を実施しました。

クラブ志摩は、志摩市阿児・大王地区に初めて設立された総合型地域スポーツクラブで、行政と連携を取りながら少子高齢化などの地域課題に取り組んでいます。現在の会員数は約230名で、5種目のスポーツ教室を展開しています。志摩市は人口減少に伴う少子高齢化とともに、各学校の運動部活動の部員数の減少が課題となっていますが、このうちサッカー、陸上競技、バレーボール教室は、中学校で廃部になった部活動種目の受け皿にもなっており、地域にとって重要な役割を果たしています。また、高齢者が自宅から外に出て身体を動かすきっかけとなるコミュニティを作るために、地域住民の集まりの場に直接出向いて、新しい活動を働きかけているところです。

今回調査をしたダンス教室は、毎週月、火に行われている教室です。小学生クラスと一般クラス(中学生以上)があり、多世代が参加できます。ダンスは近年人気が高く、地元で実績のあるダンススタジオの講師が指導を行っており、会員一人ひとりに目が届く質の高い指導で満足度向上や安定的な会員確保を目指しています。

くじ助成を受けたことにより、ポスター、チラシの作成を行うことによる会員の確保や、クラブ運営に欠かせないクラブマネジャーの配置、そして新たに若い世代の指導者等の人材の確保ができるようになりました。

今後も、総合型の強みである多種目を活かし、子どもたちがスポーツを続ける場所づくりや、高齢者の健康増進に繋げる仕組みづくりを行政や地元企業と連携して行い、地域においてなくてはならない総合型地域スポーツクラブとしてより発展されることを期待しています。

(令和5年7月11日往訪)

(写真) ダンス教室の様子

